

## 二岐山山行報告

【山行日】2023年 9月 10(日) 曇り

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 2,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西 青柳、  
飯口、植竹、大塚、小林、島田、関、野口、  
福島、藤原ト、藤原フ、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園P6:00＝

御鍋神社 P8:00/8:20～ブナ平 9:20/9:30～男岳

10:30/10:40～女岳 11:00～男岳 11:30/12:05～

ブナ平 12:45/13:00～御鍋神社P13:50/14:20＝道の駅「羽鳥湖高原 15:00＝栃木市運動公園P16:50

山行アンケートで二岐山のリクエストがあり、御鍋神社 P から男岳・女岳をピストンで登る計画を立てた。



4. 5H のピストンコースなので参加者が多く、14名が2台の車に分乗し栃木市運動公園Pを6時に出発する。

東北道を北上し白河ICで降り、国道4号線から県道37号線を進む。途中、道の駅「羽鳥湖高原」でトイレを済ませ、羽鳥湖から国道118号に出て橋本橋の先を左折し二岐温泉に向かう。二岐川に架かる二岐橋を渡ると未舗装の林道になり、両側のススキが車に触れながら走る酷い道を進むと広い駐車場に着く。

準備を整えストレッチを行なったら出発し、林道を左に進むと直ぐに御鍋神社入り口がある。

ここから5分程歩くと二岐山登山口の標識があり、右に登山道を登って行く。最初は緩やかな登りだが直ぐに急登になり、ミズナラやアスナロの大木の中を登って行く。天気は晴れの予報だったが霧が掛かり、いかにも深山と言う雰囲気のある森を登って行く。やがてブナの原生林の中を行くようになり、道が緩やかになり明るく開けた場所のブナ平着く。ブナ平は昭和40年代に大伐採が行われ、地元の人達の反対で中止になった場所である。小休止してナシや菓子をいただき、水分を補給したら男岳に向かう。



ここから伐採時の林道跡を進むと湿地状になり、そこを右に進むと男岳への急登が始まる。木の根や岩の段差も有り、手強い登りを黙々と登り続ける。



急坂の中ほどで S 田さんの足が攣り、SL と二人は後からゆっくり登ることにする。

ここからは我輩が銭湯を歩き、山頂に向かって急坂を登って行く。やがてシャクナゲの道を登るようになり、急坂を頑張って登ると男岳山頂に出る。山頂には山頂標識と二等三角点が置かれ、ガイドブックには眺望が抜群と書かれていたが、あいにくガスが晴れず眺望は得られなかった。休憩してゼリーや菓子をいただき、北側に下って女岳に向かう。山頂から北側の急坂を下り、鞍部から急坂

を登り返すと女岳山頂に着く。樹林に囲まれ山頂からの展望はなく、石の祠と女岳と書かれた板が置かれていた。女岳と書かれた板を持って記念写真を撮り、来た道に戻って男岳に向かう。鞍部まで下り男岳に向かって登ると SL が降りて来て、皆さんと一緒に男岳山頂に戻りランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やみそ汁など作り、おにぎりやお稲荷さんをいただく。いつものようにお惣菜がお皿に盛って配られ、皆さん美味しそうに食べていた。ランチが済んだら下山開始し、往路に戻って駐車場を目指す。ブナ平まで下って最後の休憩を取り、ブドウや菓子をいただきおやつタイム。ここからブナやアスナロの森をゆっくり下り、登山口がある林道へ着く。林道を少し下ると駐車場に着き、靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。途中、道の駅「羽鳥湖高原」に寄り、トイレとお土産のお買い物。白川 IC から東北道に入り、渋滞も無く順調に走って予定通り栃木市運動公園に帰着した。

